

資料1

# 第5次白老町総合計画 成果報告書

## 評価指標の見方について

### (1) 内部評価 (役場内部における自己評価)

指標	指標の意味	備考
4. 1～5. 0	目標を達成した (十分成果が上がっている)	基本事業ごとに5段階評価を行い、その平均値を各施策の内部評価とする
3. 1～4. 0	目標をほぼ達成した (ある程度成果が上がっている)	
3. 0	目標達成に向け実施中 (成果の状況はどちらともいえない)	
2. 9～2. 0	取り組みをはじめたばかり (あまり成果はあがっていない)	
1. 9～1. 0	まったく取り組んでいない (まったく成果がない)	

### (2) 住民満足度 (31年度町民意識調査による結果)

指標	指標の意味	備考
4. 1～5. 0	大きく満足度が上昇した	25年度と31年度に実施した町民意識調査における住民満足度の対比により、評価値を算出する  31年度住民満足度 ----- 25年度住民満足度 × 3 (中間値)
3. 1～4. 0	満足度が上昇した	
3. 0	満足度は計画当初と変わらない	
2. 9～2. 0	満足度が低下した	
1. 9～1. 0	大きく満足度が低下した	

### (3) 総合評価

内部評価と住民満足度の平均値をもって総合評価とする

### (4) まちづくり指標

指標	指標の意味	備考
「達成」	実績値が目標値を上回っているもの	まちづくり指標により各施策の進捗状況を把握する
「進展」	実績値が目標値を下回っているが、基準値を上回っているもの	
「継続」	実績値が基準値と同程度のもの	
「停滞」	実績値が基準値を大きく下回っているもの	

分野：生活・環境

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経時的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			内部評価	総合評価			
						H25	H31	対比					
1-1	①安全な暮らし ・防犯対策の推進 ・交通安全の推進 ・平和活動の推進 ・消費生活・町民相談の充実	すべての町民が、安心して日々の生活を営むことができるよう、防犯対策や交通安全の推進、各種相談・支援体制の充実等に努め、安全・安心なまちづくりをめざします。	◇町内全街路LED整備事業 ◇交通安全対策事業 ◇平和のまち宣言推進事業 ◇消費者行政推進事業	○防犯のED化により、防犯環境の充実を図った。 ○関係団体との連携により、犯罪発生件数の減少につながった。 ○消費者協会の解散に伴い、事務局機能を行放側に移行させた。	○詐欺等の手口が巧み化しており、高齢者等へ意識の向上と啓発が課題となっている。 ○交通指導員等の世代交代、担い手育成が課題となっている。 ○親没者等式典の参加者が減少しており、式あり方が課題となっている。 ○警察や交通安全協会等の関係団体と連携を強化し、積極的に啓発活動を実施していく。	H25	H31	対比	3.6	3.3			
				<p>まちなみ</p> <p>犯罪の発生件数 ※基準値151件の20%減である120件を目指す</p> <p>交通事故死亡者数 ※交通事故死亡事故ゼロを維持する</p> <p>消費者被害に遭わないように注意している町民の割合 ※基準値92.8%からの増加を目指す</p>		基準値	H27	H31	目標値	達成度			
00	②防災 ・総合的防災体制の確立 ・災害応急対策の充実 ・防災教育の推進 ・災害に強いまちづくり	東日本大震災を教訓に「防災」対策に加え、被害を最小限に軽減する「減災」の視点から、常日頃より災害に対する意識を高め、「自衛」「互助」「共助」「公助」の役割分担と相互の連携による地域社会が一体となった防災体制の構築を図り、誰もが安心で安心して暮らせるまちづくりを進めたい。	◇地域防災向上事業 ◇防災対策推進事業 ◇白老町代替災害対策本部整備事業 ◇要援護者支援体制構築事業 ◇防災研修事業 ◇公共施設の耐震化整備	○防災組織の結成率向上に努めた。 ○非常用防災電源装置の導入や公衆無線LAN環境の整備等、避難所機能の強化を図った。 ○出前講座や、防災マスター会との連携事業等により、防災意識の向上に努めた。	○本人から同意がもらえず、要援護者名簿の作成が進まない。 ○災害時ににおける外国人への対応 ○突発的な広域防災体制の確立が課題である。 ○先発の震災を教訓とした停電対応や情報伝達等の課題解決に向けた取組みを進めていく。	H25	H31	対比	3.5	3.3			
				<p>まちなみ</p> <p>自主防災組織結成率 ※町内全世帯のカバーを目指す</p> <p>防災講座実施回数 ※年30回以上の継続的な実施を目指す</p> <p>住宅の耐震化率 ※基準値の35%増である92%を目指す</p> <p>防災訓練実施件数 ※基準値から年5%の増加を目指す</p> <p>災害や緊急時に備えた準備をしている町民の割合 ※基準値45.4%からの増加を目指す</p>		基準値	H27	H31	目標値	達成度			
1-2				<p>まちなみ</p> <p>70%</p> <p>23回</p> <p>68%</p> <p>22件</p> <p>45.4%</p>		74% <p>3回</p> <p>69%</p> <p>82件</p> <p>57.1%</p>	74.5% <p>12回</p> <p>69%</p> <p>37件</p> <p>68.5%</p>	100% <p>30回</p> <p>92%</p> <p>68件</p> <p>1</p>	進展	停滞	継続	進展	達成
00	③治水・海岸保全 ・海岸保全の推進 ・治水対策の推進	高波や高潮、超波などの海岸被害、河川の氾濫や洪水による被害から町民の生命や財産を守り、国土を保全し、国土を保全するための、海岸保全対策を推進するとともに、河川等の環境整備による治水対策を促進します。	◇海岸保全促進事業 ◇河川改修事業 ◇道路排水整備事業 ◇治水対策推進事業	○道路直轄海岸事業として6基目の工事を完了し、近年、砂浜の回復が図られており、海岸に事業が進んでいる。 ○白老川水系の河川改修工事が順次に進んでおり、要望の成果が現れている。 ○ハンノ川、芥川等の河川整備のほか、町内各要望の道路排水整備を進めている。	○事業の早期完成に向け、要望活動の継続に努める。 ○国費等の特定財源の更なる確保に努め、市街化区域内における浸水被害等の解消を図っていく。	H25	H31	対比	3.3	3.2			
				<p>まちなみ</p> <p>54.9%</p>		54.0% <p>0.98</p>	54.0% <p>3.0</p>	0.98	3.0	3.2			
1-3				<p>まちなみ</p>									

ID	施策名	施策目標	主な事業・取組み	積極的な成果・検証	課題と今後の方向性			住民満足度			総合評価
					内部評価	H25	H31	H31	H27	H31	
1-4	④消防・救急 ・消防・救助体制の充実 ・火災予防体制の充実 ・救急体制の充実 ・消防団体制の充実	事故や火災等から町民の生命や財産を守るため、地域安全対策の強化を図り、火災予防・火災予防の強化を図る。消防・救急体制の強化や救助技術などの習得による消防団員の質の向上、施設・設備の近代化や高機能化を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防車両更新整備事業 (大型水槽車)</li> <li>消防救急デジタル無線整備事業</li> <li>高規格救急自動車更新整備事業</li> <li>消防団災害用無線整備更新整備事業</li> <li>消防団資機材整備事業</li> <li>職員訓練研修事業</li> <li>火災予防啓蒙活動事業</li> <li>普通救命講習等開催事業</li> </ul>	消防・救急設備等の整備・更新により、消防体制の強化を図った。 ○消防団員、救急隊員の知識、技能の向上、消防団の体制強化を図った。 ○町長への防火思想、及び応急措置技術の普及啓蒙を図った。 まちづくり指標	消防車両等整備率 ※車両・資機材の適切な更新により、基準値の維持を目指す。 一般住宅火災警報器の設置率 ※全ての住宅への設置を目指す。 普通救命講習受講者数 ※毎月開催する講習会へ平均10名以上の参加確保を目指す。 消防団員充足率 ※基準値からの更なる増加と維持を目指す。	基準値	H27	H31	対比	達成度	
					78%	72.1%	72.1	→	停滞		
					53%	90%	92%	100%	進展		
					73人	145人	138人	120人	達成		
					96%	95%	97%	1	達成		
1-5	⑤環境保全 ・社会的な環境行政の推進 ・資源循環型社会の形成 ・自然との共生 ・公害の未然防止 ・地球温暖化対策の推進	豊かな自然環境を保全することにも、温室効果ガスの排出削減に向け、環境に対する意識の普及啓蒙、省エネ、環境に対する影響を軽減する取り組みを進め、環境への影響を低減した環境型のまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境基本計画推進事業</li> <li>ごみ収集事業</li> <li>バイオマス燃料施設管理運営事業</li> <li>環境衛生センター運営事業</li> <li>白老町環境町民会結成・運営事業</li> <li>公害防止協定の締結・監視</li> <li>省エネ・省資源、再生エネルギーの普及啓蒙</li> </ul>	白老町環境基本計画に基づき環境行政を推進してきた。 ○バイオマス燃料施設での固形燃料の製造をH31.3で中止とした。 ○白老町環境町民会結成、国の海岸功労賞を受賞した。 ○環境測定による公害の監視及び事業者への指導に努め、公害の未然防止を図った。 まちづくり指標	町民一人当たりの家庭ごみの排出量 ※ごみ処理計画に基づき、H35までに50tまでに削減を目指す。 再資源化率がごみの総排出量に占める割合 ※ごみ処理計画に基づき、H35まで30%を目指す。 環境に配慮している事業者の割合 ※基準値からの増進を目指す。	基準値	H27	H31	対比	達成度	
					618t/日	644t/日	622t/日	600t/日	停滞		
					84%	17.9%	21.3%	30%	停滞		
					85.6%	79.6%	82.5%	1	停滞		
1-6	⑥環境美化・衛生 ・特色ある景観の形成 ・環境美化の推進 ・生活衛生の確保 ・愛が動物の適正飼養の推進 ・花葬場、墓園基地の適正な管理と整備	町民、事業者、行政がそれぞれ役割を果たしながら、景観や衛生に配慮した清潔で美しいまちづくりを推進します。 また、町民が安全、快適に暮らせるように公共衛生の確保やモラル・マナーの向上を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家等改善事業</li> <li>遊休施設解体事業</li> <li>環境美化対策事業</li> <li>クリーンらおい運動</li> <li>PCB焼棄物処分事業</li> <li>有害害虫・鳥獣駆除対策事業</li> <li>畜犬登録・狂犬病対策事業</li> <li>白老町共同施設整備事業</li> <li>白老町焼却炉施設等改修事業</li> </ul>	総合的な空き家対策を目的に、空き家等対策計画を策定した。 ○景観保全のための遊休施設の解体を進めた。 ○クリーンらおい運動を通して、良好な環境整備と美化を推進してきた。 ○法律に基づき令和4年度までにPCB焼棄物処理を行った。 ○共同施設の設置、及び火災予防の改修等を実施した。	不在地主の代替わりにより、空き地等の草刈りや不法投棄の対応が難しくなってきた。 ○ドクガやアライグマ被害も年々増加している。 ○焼却・重面の施設が老朽化が著しいことから、中長期的な視点に立った、計画的な施設整備を進めていく。	基準値	H27	H31	対比	総合評価	
					49.0%	41.5%	40.0%	1	停滞		
					40.4t	25.9t	22.9t	20t	進展		
					170団体	173団体	150団体	1	停滞		
					68.8%	73.3%	71.6%	76%	進展		

ID	施策名	施策目標	主な事業・取組み	執行的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価	
						H25	H31	対比		
1-7	⑦公園・緑地 ・公園・緑地の保全と整備 ・参加と協働による緑化の推進	みどり豊かな潤いある町民生活と緑の増を保全・創出するため、公園や緑地、広場などの整備と維持管理を計画的に進めるとともに、町民による緑化活動を支援し、行政と町民などの協働により、地域と連携した花と緑の環境づくりを進めます。	◇公園施設維持補修事業 ◇白老町都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（効果促進） ◇フラワーステーション移設事業 ◇公園施設里親事業 ◇緑化推進活動支援事業（花とみどりの会）	○計画的な維持管理により、安全で安心な公園利用を図った。 ○香取空間切替の一環で、フラワーステーションの移設を実施した。 ○花苗の生産・販売及び花壇整備の実施により、美しい街並みを形成してきた。	○団体メンバーの高齢化により、里親事業からの脱退が懸念となっている。 ○地域と連携した緑化活動の推進により、緑地保全や協働について意識醸成を図っていく。	H25	H31	対比	2.8	3.2
						58.5%	54.1%	0.92		
1-7				まちづくり指標		H27	H31	目標値	達成度	
				花苗配布本数 ※基準値69千本の維持を目指す。 里親実施公園数 ※基準値15ヶ所の維持を目指す。 公園や緑地が充実していると思う町民の割合 ※基準値32.9%からの増加分を目指す。			69千本 15ヶ所	59千本 19ヶ所	→	停滞
1-8	⑧土地利用・住環境 ・土地利用の推進と適正配置 ・安全で快適な住まいづくり ・公営住宅・町営一般住宅の整備 ・移住・定住の促進	将来にわたり持続的な地域社会を構築するため、自然との調和や人とのまちななを十分に配慮した総合的・計画的な土地利用を進めます。 また、安全・安心で快適に住み続けられることができれば、社会環境や多様なニーズに対応した良質な住宅や公営住宅などの整備を推進します。	◇都市計画策定等事務事業 ◇都市計画マスタープラン事業 ◇快適住まい指導・支援事業 ◇建築確認申請・開発行為等審査事業 ◇住生活基本計画策定事業 ◇町営住宅改修・解体事業 ◇町有住宅改修事業 ◇移住定住促進事業 ◇定住促進・子育て世代応援事業 ◇地域おこし協力隊活用事業	○公営住宅等の整備及び維持管理を計画的に実施し、居住者の安全と快適性を高めた。 ○面置やリアフリー化などの相隣体制を整備し、無料診断を実施してきた。 ○協議会によるフェア参加、HP作成、お話し暮らしにより、移住者の誘致を図った。 ○地域おこし協力隊の導入により、地域活性化及び町内への定住につながった。	○公営住宅の老朽化対策が必要であるとともにも、今後、適正な維持管理が必要である。 ○香取空間の開設を受け、雇用の場が増加傾向にある中、住まいが不足している。 ○協力隊募集に係る自治体間の競争が激しくなっており、適任者の確保が課題である。 ○新たな市街地整備手法を検討し、次期都市計画マスタープランに反映させていく。 ○子育て世代向けの「住居・子育て・教育」に係る支援等が必要である。	H25	H31	対比	3.0	3.3
						47.3%	47.5%	1.00		
1-8				まちづくり指標		H27	H31	目標値	達成度	
				長期優良住宅建設戸数 ※住宅戸数を増加させ、累計144戸を目指す。 住宅等の計画修繕進捗率 ※公営住宅長寿化計画が終了するH31に100%を達成させる。 完全移住人数 ※基準値15名の維持を目指す。			6戸 43.8%	18戸 82.2%	144戸 100%	進展 進展
1-9	⑨上水道 ・安全で安心な水道給水の充実 ・利用者の信頼性の向上 ・水道事業の健全な経営	生活基盤の柱の一つである水道水の安全・安定な供給体制確保のため、水道施設の適切な維持・整備を進め、水道事業の健全な経営を確保し、安全でおいしい水の安定供給を図ります。	◇浄水施設整備事業 ◇配水管維持管理業務 ◇水質検査結果等公表 ◇健全経営計画・安定供給	○第三者委託を実施し、民間の技術力と経営ノウハウによる、水道水の供給を確保した。 ○無収水量の削減が課題である。 ○瀧水多量地区を中心に、漏水調査や老朽化した配水管の布設替え等を実施し、有収率の向上に努めていく。	○施設の老朽化が進み、計画的な整備・修繕が必要である。 ○瀧水多量地区を中心に、漏水調査や老朽化した配水管の布設替え等を実施し、有収率の向上に努めていく。	H25	H31	対比	3.0	3.5
						67.4%	68.3%	1.01		
1-9				まちづくり指標		H27	H31	目標値	達成度	
				水道有収率 ※基準値76.2%の概ね3%増の78%を目指す。 漏水件数 ※基準値59件の概ね20%減の47件を目指す。			76.2%	74%	78%	停滞 進展

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	執行的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価	
						H25	H31	対比		
1-10	⑩生活排水処理 ・安全で快適な公共下水道の整備 ・し尿・生活排水処理の充実 ・下水道事業の健全な経営	生活排水を適切に処理することにより、衛生的な生活環境を保持するとともに、河川や海などの水質を保全し、美しく快適な居住環境を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>管渠維持管理事業</li> <li>管渠及び処理場整備事業</li> <li>浄化槽整備設置事業</li> <li>汚水処理施設共同整備事業</li> <li>生活排水処理事業</li> <li>健全経営計画・安定供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併処理浄化槽設置費用の一部を助成し、町民の生活環境の改善を図った。</li> <li>OMICS事業の愛用により、生活環境の改善と公衆衛生の向上を図った。</li> <li>公営企業会計の移行により、下水道事業の健全化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化が進み、計画的な整備・修繕が必要である。</li> <li>コストの抑制と平準化を図りつつ、予防保全型の維持管理を推進していく。</li> </ul>	H25	H31	対比	3.4	
				まちづくり指標 汚水処理人口普及率 ※白老町下水道中期ビジョンに基づき、97%以上を目指す。 水洗化率 ※白老町下水道中期ビジョンに基づき、95%以上を目指す。		基準値	H27	H31	目標値	達成度
						95.9%	90.5%	90.3%	97%	停滞
						94%	92.2%	94%	95%	継続
CD	⑪道路	地産産業や経済の活性化に資する快適で利便性の高い交通ネットワークの形成を図るとともに、災害等緊急時の迅速な避難・救助活動を支えるため、幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行い、安全で快適な道路環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道・道道整備促進事業</li> <li>道道昇格促進事業</li> <li>町道整備事業</li> <li>末広東通り跨線橋（自由通路）整備事業</li> <li>橋梁長寿命化事業（点検・修繕）</li> <li>萩野12間線跨線橋撤去事業</li> <li>役場前人道跨線橋改修事業</li> <li>北吉原西通り道路排水補修事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道・道への継続した要望の結果、H29.3に国道36号白老区間が專業化された。また、道道大環線については、R24の冬に道年通行が実現する見込みである。</li> <li>冬寒空間の問題にあわせて、照明灯の設置、白老駅自由通路等の整備を実施した。</li> <li>補修計画に基づき、橋梁長寿命化や道路整備を実施。道路環境、安全性の保持に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道36号（萩野・竹浦）及び（仮称）吉小牧並別道に対する継続した要望が求められる。</li> <li>国道や道の協議、用地の計画的な取得することなく進める。</li> <li>修繕計画に基づき定期点検により、劣化状況の把握に努め、優先順位を定めながら、効果的な道路施設の管理を実施していく。</li> </ul>	H25	H31	対比	3.4	
1-11				まちづくり指標 国道36号4車線区間延長 ※基準値からの増加を目指す。 町道改良率 ※基準値58.1%の概ね5%増の61%を目指す。 専などで移動しやすい道路整備がされていると思う町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。		基準値	H27	H31	目標値	達成度
						14.5km	14.5km	16.8km	↑	達成
						58.1%	58.4%	58.1%	61%	継続
						70.4%	65.5%	35.7%	↑	停滞
CD	⑫公共交通機関	町民の日常生活における身近な移動手段を確保するため、関係機関との連携により、利便性の高い、魅力ある公共交通の維持・確保を促進するとともに、利用者ニーズに応じた公共交通サービスへの提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通活性化事業</li> <li>地域循環バス運行事業</li> <li>チャームド交通運行事業</li> <li>マイクハバス購入事業</li> <li>白老福祉有償運送運営協議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通活性化計画に基づき、H29.10に路線「ダイヤ改正、元気号バスの1台増車を実施。あわせてチャームド交通の運行を開始。あわせて、利便性の向上と、利用促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新市間運行バスの購入が課題となっており、近隣市との協議が必要である。</li> <li>公共交通空白地域における利便性の高い運行が課題となっていることから、引き続き、住民ニーズに応じた運行体系の検証・改善を推進していく。</li> </ul>	H25	H31	対比	3.4	
1-12				まちづくり指標 1日当たりの元気号等利用者数 ※基準値180人の概ね28%増の230人を目指す。 日常生活に必要な公共交通機関が確保されていると思う人の割合 ※基準値35%からの増加を目指す。		基準値	H27	H31	目標値	達成度
						180人	93人	103人	230人	停滞
						35.0%	24.8%	23.8%	↑	停滞

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	執行的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価	
						H25	H31	対比		
1-13	⑬地域情報化 ・情報通信基盤の整備 ・電子自治体の推進 ・離脱地域地域の解消促進	情報通信の利用機会・地域間格差を改善し、豊かな市民生活の実現や地域社会の発展を促進するため、情報通信基盤整備を促進するとともに、情報通信技術を活用した地域情報化や、行政の情報化によるサービスの向上に努めます。	◇情報基盤推進事業 ◇光ネットワーク管理事業 ◇公衆無線LAN環境整備事業 ◇社会保険・税番号制度導入事業 ◇情報セキュリティ強化対策事業 ◇地域情報化計画の推進 ◇地上デジタル放送難視聴対策施設整備事業	○光ファイバーの利用者が年々増加傾向にある。 ○キヤップファイバー局の整備により、離脱地域の解消に努めてきた。 ○町内離脱所に公衆無線LAN環境を整備し、災害時における通信手段の確保を図った。 ○マイナンバー制度の導入により、行政の効率化等を図った。	○利用者増に伴い、一部の地域において光ファイバーの芯線が不足し、光ブロードバンドを利用できないユーザが生じている。 ○キヤップファイバー局の維持管理、施設更新等が今後の課題である。 ○マイナンバーカードの普及促進を図り、住民の利便性向上と行政事務の効率化に努めていく。 ○情報セキュリティの内部監査・研修等を実施し、職員の意識改革を図る。	H25	H31		3.6	
						50.9%	52.0%	1.02		3.1
まちづくり指標						基準値	H27	H31	目標値	達成度
光ブロードバンド加入率						15%	27.3%	32.9%	25.0%	達成
※基準値15%の概ね67%増の25%を目指す。 地上デジタル放送難視聴世帯数						2%	0.46%	0.46%	0.5%	達成
※基準値2%の1.5%減の0.5%を目指す。										

分野：健康・福祉

CD	施策名	実施目標	主な事業・取組み	経時的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価					
						H25	H31	対比						
2-1	①健康づくり ・保健・医療・福祉のネットワーク化 ・保健センターの充実 ・自主的な健康づくりの推進 ・国民健康保険制度等の推進	<p>市民が生活にわたりにまいまきと健康的な生活が送れるよう、ライフステージや個々の状態に応じた、きめ細かな保健サービスの充実を図ります。</p> <p>また、自分の健康状態に意識や関心を持ってもらうため、主体的な健康づくり活動を推進すること、特定予防対策を推進すること、特定健康診査や各種検診の受診促進による疾病の早期発見、早期治療といふ、健康づくりの推進を推進していきます。</p>	<p>◇保健・医療・福祉の三連携</p> <p>◇検診管理事業</p> <p>◇予防接種事業</p> <p>◇特定健康診査事業</p> <p>◇健康づくり事業</p> <p>◇国民健康保険制度等の推進</p>	<p>○H30から中学生へのピロリ菌検査の除菌支援事業を実施した。</p> <p>○健康力レンジャーや検科クーポン券の配布、結果通知書の簡便等を実施し、保健センターの充実を図った。</p> <p>○未受診対策により、特定健康診査の受診率が年々上昇している。</p> <p>○健康診査や各種検診、保健指導等を行い、市民の健康の維持推進を図った。</p> <p>○国民健康保険制度等の充実や生活習慣病重症化予防対策により、赤十字会計からの脱却を果たした。</p>	<p>○今後も保険料改定を見据えた会計の運営が求められる。</p> <p>○若年層の受診率が低いことから、若者に興味をもたすような情報発信のあり方について、調査・研究を進める必要がある。</p>	H25	H31	対比	3.5	3.1	1.05	58.4%	61.3%	3.9
						基準値	H27	H31						
				<p>国保特定健康診査受診率 ※基準値21.2%の概ね倍増の41%を目指す。</p> <p>国保特定保健指導推進事業 ※基準値54.9%の維持を目指す。</p> <p>個別健康相談利用者数 ※基準値298件の概ね20%増の360件を目指す。</p> <p>健康診査があるという町民の割合 ※基準値70.8%の概ね13%増の80%を目指す。</p> <p>自衛隊で健康づくりに取り組んでいる町民の割合 ※基準値83.4%からの増加を目指す。</p>	<p>まちづくり指標</p>	<p>基準値</p> <p>H27</p> <p>H31</p> <p>達成度</p> <p>21.2%</p> <p>33.2%</p> <p>31.2%</p> <p>41.0%</p> <p>54.9%</p> <p>62.1%</p> <p>78.3%</p> <p>—</p> <p>達成</p> <p>298件</p> <p>382件</p> <p>262件</p> <p>360件</p> <p>停滞</p> <p>70.8%</p> <p>55.4%</p> <p>58.8%</p> <p>80%</p> <p>83.4%</p> <p>76.5%</p> <p>83.3%</p> <p>—</p> <p>継続</p>								
2-2	②地域医療 ・安定した地域医療の確保 ・救急医療体制の充実	<p>町民の健康を支え、地域で安心して暮らせるよう、町内の中核病院で安定化を図ります。</p> <p>また、町内外の医療機関との連携により、望まれる地域医療の確保、維持及び救急医療体制の整備に努めること、安全・安心で適切な医療サービスを受けられる環境づくりを進めます。</p>	<p>◇地域保健医療推進事業</p> <p>◇町立病院経営改善計画の執行</p> <p>◇町立病院改築基本方針策定事業</p> <p>◇町立病院の運営に関する協議</p> <p>◇町立病院改築等事業</p> <p>◇広域連携救急医療体制の推進</p> <p>◇救急医療体制の充実</p>	<p>○関係団体に対して運営支援を行い、地域医療の充実を図った。</p> <p>○経営改善計画における一般会計繰入金計画を堅持した。</p> <p>○H30.5に公設公営・入院機能保持へ向けた取組を進めた。現在、改築基本方針の策定に向けて検討を進めている。</p> <p>○吉小牧医師会の協力のもと、休日における医療体制の確保を図った。</p> <p>○経営改善計画に基づき、救急患者の受入体制の強化に努めてきた。</p>	<p>○経営改善計画の継続実施と目標値達成</p> <p>○町立病院改築基本方針の早期策定を目指す。</p> <p>○救急医療体制を継続するための人員、医療機器等のあり方を整理。</p> <p>○増加する高齢者の医療需要や、安心して子育てができる環境を整備するため、引き続き、医療体制の充実に向けて取り組む。</p>	H25	H31	対比	3.5	4.2	1.39	44.7%	48.7%	3.9
						基準値	H27	H31						
				<p>1日平均入院患者数 ※基準値26.2人から60%増の42人を目指す。</p> <p>1日平均外来患者数 ※基準値137.6人の概ね7%増の147人を目指す。</p> <p>病床利用率 ※基準値45.2%の概ね53%増の69%を目指す。</p> <p>安心して医療を受けることができると感じている町民の割合 ※基準値11.7%からの増加を目指す。</p>	<p>まちづくり指標</p>	<p>基準値</p> <p>H27</p> <p>H31</p> <p>達成度</p> <p>26.2人</p> <p>31.5人</p> <p>18.8人</p> <p>42人</p> <p>137.6人</p> <p>123.2人</p> <p>147人</p> <p>45.2%</p> <p>54.5%</p> <p>32.4%</p> <p>69.0%</p> <p>11.7%</p> <p>9.5%</p> <p>9.5%</p> <p>—</p> <p>停滞</p> <p>停滞</p> <p>停滞</p> <p>停滞</p> <p>停滞</p>								

ID	施策名	施策目標	主な事業・取組み	執行的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			内部評価	総合評価	
						H25	H31	対比			
2-3	③地域福祉 ・地域福祉体制の充実 ・福祉拠点・施設の充実 ・パリアフリーのまちづくり ・生活の安定と自立援助	すべての町民が住み慣れた地域で健康で文化的な生活を安心して送ることができるよう、高齢者や障がい者などへの理解と認識を深めるとともに、各機関が適切に役割を果たしながら連携を強化し、地域ぐるみで支えあう福祉体制の整備、充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域福祉推進事業</li> <li>◇心の健康推進事業</li> <li>◇総合保健福祉センター管理運営及び施設改修等事業</li> <li>◇福祉館管理運営事業</li> <li>◇生活館管理運営及び施設改修等事業</li> <li>◇各種相談窓口の充実</li> <li>◇アイヌ民族住宅資金貸付事業</li> <li>◇パリアフリー・ユニバーサルデザインの推進</li> </ul>	<p>就業活動を通じて、社会的弱者に対する偏見や差別解消に努めた。</p> <p>○道の委託を受け、総合相談窓口を設置し、支援の充実を図った。修繕を実施し、老朽化等に伴う施設改修、修繕を実施し、利用者の利便性の向上を図った。</p>	<p>課題と今後の方向性</p> <p>○相談業務の多様化・複雑化に伴い、専門知識を有する人員の配置が求められている。</p> <p>○福祉館・生活館の老朽化が進み、計画的な整備・修繕が必要である。</p> <p>○福祉施設等における新たな活用等の検討が課題である。</p> <p>○少子高齢化、家族・地域社会の姿容により、地域福祉のニーズは高まっていることから、共に支え合う地域づくりを目指し、各施策を推進していく。</p>	H25	H31	対比	3.3	3.1	3.2
						基準値	H27	H31			
				<p>ふれあいチーム結成率/町内全数</p> <p>※基準値59.4%の概ね35%増の80%を目指す。</p> <p>福祉ボランティア登録者の割合</p> <p>※基準値16.5%の概ね17%増の19.3%を目指す。</p> <p>公民館における車椅子対応トイレ保有施設数</p> <p>※H31までに全施設のバリアフリー化を目指す。</p> <p>高齢者や障がい者に配慮した安心して暮らせる環境にあると思う町民の割合</p> <p>※基準値39.9%の増加を目指す。</p>	<p>まちづくり指標</p> <p>基礎値</p> <p>59.4%</p> <p>62.5%</p> <p>62.0%</p> <p>16.5%</p> <p>14.2%</p> <p>9.4%</p> <p>42ヶ所</p> <p>45ヶ所</p> <p>39.9%</p> <p>33.8%</p> <p>30.9%</p>	達成度	達成	達成			
2-4	④子育て支援 ・結婚希望の支援 ・母子保健対策の充実 ・子育て支援環境の整備 ・子育ての充実 ・ひとり親家庭支援の推進	家庭での子育ての大切さや地域ぐるみで子育てを支援する意識を啓発し、ゆとりある子育て環境のもと、すべての子どもたちが幸せに育ち、安心して子どもを生み育てられる地域の実現を計画的に推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇結婚支援促進事業</li> <li>◇母子保健事業</li> <li>◇特定不妊治療助成事業</li> <li>◇新生児聴覚検査費助成事業</li> <li>◇乳幼児等医療費助成事業</li> <li>◇子ども・子育て支援事業計画策定事業</li> <li>◇子育てふれあいセンター大規模改修事業</li> <li>◇子ども発達支援センター管理運営</li> <li>◇子育て支援パッケージ事業</li> <li>◇子ども医療費助成事業</li> <li>◇認定子ども園運営費事業</li> <li>◇ひとり親家庭等医療費給付事業</li> </ul>	<p>結婚的ないしは結婚を望む声が多く、継続した検討が求められる。</p> <p>○道の補助事業に基づく助成は、道の要望に追いつけず、子育て世代の新たなニーズの把握と、時代に合った運営改善が求められる。</p> <p>○子育て世代包括支援センターの開設など、切れ目のない支援体制の整備に取り組んでいく。</p>	<p>課題と今後の方向性</p> <p>○医療費助成の拡大を望む声が多く、継続した検討が求められる。</p> <p>○道の補助事業に基づく助成は、道の要望に追いつけず、子育て世代の新たなニーズの把握と、時代に合った運営改善が求められる。</p> <p>○子育て世代包括支援センターの開設など、切れ目のない支援体制の整備に取り組んでいく。</p>	H25	H31	対比	3.6	2.9	3.3
						基準値	H27	H31			
				<p>乳幼児健診未受診者訪問率</p> <p>※対象全戸訪問による100%実施と、その維持を目指す。</p> <p>乳幼児健診の受診率</p> <p>※基準値90%の概ね6%増の95%の受診と、その維持を目指す。</p> <p>子ども発達センター「ピエタ」の利用者数</p> <p>※基準値3,224人の維持を目指す。</p> <p>子育てふれあいセンター利用者</p> <p>※基準値4,691人の維持を目指す。</p> <p>子どもを産み、育てやすい環境が整っているとと思う町民の割合</p> <p>※基準値32.2%からの増加を目指す。</p>	<p>まちづくり指標</p> <p>基礎値</p> <p>94.0%</p> <p>100.0%</p> <p>100.0%</p> <p>90.0%</p> <p>97.0%</p> <p>97.0%</p> <p>3,224人</p> <p>2,854人</p> <p>3,276人</p> <p>4,691人</p> <p>5,545人</p> <p>32.2%</p> <p>15.5%</p> <p>19.7%</p>	達成度	達成	達成	達成	達成	達成

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経時的な成果・検証	課題と今後の方向性		住民満足度		総合評価		
					内部評価	評価	H25	H31		H27	H31
2-5	<p>⑤障がい者(児)福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者理解の促進</li> <li>障がい者の自立支援の促進</li> <li>障がい者の社会参加の促進</li> <li>安全・安心な地域生活の充実</li> <li>障がい児の相談・支援の充実</li> </ul>	<p>障がい者の有難にかかわらず、誰もが地域の構成員として尊重され、互いに助け合うことにより、住みやすい地域の中で自立し、生きがいを持ちながら安心して生活できるまらちづくりをめざします。</p>	<p>◇ノーマライゼーション理念の浸透、支援</p> <p>◇障がい者支援補助事業</p> <p>◇重度心身障がい者医療費給付事業</p> <p>◇社会参加メニューの充実</p> <p>◇地域ネットワーク・緊急支援体制の充実</p> <p>◇コミュニケーション支援ボードを作成</p> <p>◇コミュニティセンターの活用</p> <p>◇各種会議体を通じ、医療、教育、福祉の連携を強化しながら、障がい児等における療育体制の整備に努めてきた。</p>	<p>○パネル展やパンフレットの配布、広報掲載等により理解、普及に努めた。</p> <p>○障がい者支援センターを開設し、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。</p> <p>○要支援者支援計画や運営マニュアルを作成し、緊急時に備える体制強化を図った。</p> <p>○コミュニケーション支援ボードを作成し、窓口等に配置した。</p> <p>○各種会議体を通じ、医療、教育、福祉の連携を強化しながら、障がい児等における療育体制の整備に努めてきた。</p>	<p>○ノーマライゼーション理念の異なる環境と、障がい者雇用の拡大が求められている。</p> <p>○要支援者支援計画における名簿提出の同意が進まないことが課題である。</p> <p>○障がい者が地域で生活する際に生じるニーズや課題に対応するための体制づくりを推進していく。</p>	4.1	54.9%	56.3%	1.03	3.1	3.6
				<p>まらちづくり指標</p> <p>月平均当たりの障がい福祉サービスの利用件数 ※基準値240件の概ね33%増の320件を目指す。</p> <p>月平均当たりの相談窓口の相談件数 ※基準値17件の概ね76%増の30件を目指す。</p> <p>福祉施設からの一般就労移行者数 ※基準値8件の倍増となる16件を目指す。</p> <p>地域活動支援センターの利用者 ※定員数である基準値15人の維持を目指す。</p> <p>子ども発達支援センター「エミナ」年間利用者数 ※基準値1,297人の維持を目指す。</p>	<p>達成度</p> <p>達成</p> <p>達成</p> <p>停滞</p> <p>達成</p> <p>停滞</p>	基準値	H27	H31	目標値	達成度	
2-6	<p>⑥高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者支援対策の推進</li> <li>高齢者の生きがいづくりの推進</li> <li>高齢者医療制度の推進</li> <li>介護保険制度の推進</li> </ul>	<p>高齢者が生涯にわたり、安心して住み慣れた地域でいざいざとした生活を充実させるよう、各種福祉サービスを充実するとともに、地域で支えあうネットワークづくりや、自主的な社会参加による生きがいづくりを推進します。</p>	<p>◇地域包括支援センター運営事業</p> <p>◇認知症ケアパス策定事業</p> <p>◇高齢者生活支援システム事業</p> <p>◇老人福祉活動補助事業</p> <p>◇後期高齢者医療制度運営事業</p> <p>◇後期高齢者予防接種事業</p> <p>◇介護予防普及啓発・活動支援事業</p> <p>◇施設介護サービス事業</p>	<p>○地域での助け合いや見守り活動など、各種事業の推進により支援体制の強化を図った。</p> <p>○高齢者のフレイル(虚弱状態)の予防対策が今後の課題である。</p> <p>○引き続き、地域包括ケアシステムに係る各種事業を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりを進めていく。</p>	<p>○高齢者の増加により、医療費や検診料等の増加が懸念される。</p> <p>○高齢者のフレイル(虚弱状態)の予防対策が今後の課題である。</p> <p>○引き続き、地域包括ケアシステムに係る各種事業を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりを進めていく。</p>	3.6	53.3%	56.8%	1.06	3.2	3.4
				<p>まらちづくり指標</p> <p>地域包括支援センターの相談件数 ※H26実績ベースに毎年1.5%の増を目指す。</p> <p>高齢者専門委員会委員数及び高齢者クラブ委員の合計数 ※委員会数の維持を目指す。</p> <p>後期高齢者特定健診受診率 ※基準値4.3%の概ね10%増の15%を目指す。</p> <p>介護予防事業参加者数 ※H26実績ベースに毎年1%の増を目指す。</p>	<p>達成度</p> <p>達成</p> <p>停滞</p> <p>進展</p> <p>達成</p>	基準値	H27	H31	目標値	達成度	

分野：教育・生涯学習

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	結局的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価
						H25	H31	対比	
3-1	①幼児教育 ・教員の支援 ・教育環境の充実	基本的な生活習慣や生きる力、思いやり、心、生涯にわたる人間形成の基盤を培う。幼児教育の充実を図るとともに、幼児が健やかに成長できるように、教育環境の充実を促進します。	◇幼稚園就園費補助事業 ◇幼稚園運営費補助事業 ◇認定こども園整備事業	○私立幼稚園から幼児園型こども園への移行促進を図った。 ○保育料の無償化実施後、幼稚園就園費補助事業が不要となる。 ○認定こども園への移行後、施設に対して給付費での支給となるため、運営費補助は行わない。	4.5	H25	H31	対比	3.8
						56.2%	56.3%	1.00	
						基準値	H27	H31	達成度
						34.9%	33.3%	34.5%	停滞
3-2	②小・中学校教育 ・確かな学力の育成 ・特色ある教育活動の充実 ・教員の指導力の充実 ・学校施設設備等の充実 ・教育環境の整備 ・特別支援教育の充実 ・学校・家庭・地域の連携の促進 ・安全安心な学校給食の提供	地域の特性や学校の副業工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな人間性と感性、心身の健やかな育成など、子どもたちの生きる力を育む教育を推進するとともに、地域文化の理解と国際感覚豊かな人材の育成を行います。また、学校施設の適切な整備を推進するとともに、学校と家庭、地域との相互交流と連携により、子どもたちが安心していきいきと学ぶことができる教育環境づくりを進めます。	◇学力向上サポート事業 ◇子どもチャレンジ支援事業 ◇プロگرامミング教育推進事業 ◇スクールソーシャルワーカー活用事業 ◇フットボール洗口事業 ◇教師塾開催事業 ◇小中学校耐震化対策事業 ◇小中学校適正配置検討事業 ◇児童登下校安全対策事業 ◇特別支援教育支援員配置事業 ◇地域塾開講事業 ◇コミュニケーション・スクール運営事業 ◇食育防災センター建設事業 ◇学校給食地場産品活用事業	○耐震化を終えていない校舎は数校のみであり、早急な対応が必要。 ○今後も児童数の推移や地域との協議を先行しながら、小中学校の適正な配置の検討が求められる。 ○学校運営協議会委員の固定化が課題。 ○食材の高騰により、給食費の値上げが課題となつてきている。 ○確かな教育を推進させるため、引き続き、教育環境の整備のほか、小中一貫教育の推進や、教師力の向上、学習支援員の配置など、特色のある教育活動等の充実を図っていく。	4.1	H25	H31	対比	3.6
						54.1%	53.6%	0.99	
						基準値	H27	H31	達成度
						▲1.2	▲1.8	▲2.7	停滞
						57.7%	69.2%	83.3%	進展
						34.3%	39.5%	40.1%	進展
						93.5%	95.1%	92.3%	停滞

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経路的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価		
						H25	H31	対比			
3-3	③高校・各種教育機関 ・教育の充実と教育機会の拡充 ・高等教育機関との連携強化	生徒一人ひとりの個性や能力・適正に応じた、多様で特色ある教育を進めるとともに、高等学校等への進学機会の確保と教育環境の充実を促進します。地域の知的拠点である高等教育機関の地域に開かれた生涯学習機能の充実を促進します。	◇入学準備金貸付事業 ◇私立高等専門学校補助金 ◇高等教育機関との連携	○入学準備金貸付事業は25年度で終了。現在は、利子補給のみ実施。 ○各校の専攻と白老子屋、ふるさと学習等で連携を図っている。	○R4年度で利子補給がなくなるため、入学準備金貸付事業は終了となる。	52.6%	53.1%	1.01	3.0	3.5	
3-3				指標なし	まちづくり指標	基準値	H27	H31	-	達成度	-
CD	④社会教育 ・学習機会の充実と読書活動の推進 ・家庭教育・地域教育の推進 ・多文化共生教育の推進 ・社会教育施設等の管理運営の充実	町民誰もが生涯にわたり、楽しさ、喜びを実感し、いつまでもと文化的生活を送るため、いざいざと文化的生活を送るよう、それぞれの年代やニーズに応じた学習機会の提供や環境整備を図るとともに、青少年の健全育成等「人づくりに」に参与する町民主体による社会教育活動の活性化を図ります。	◇社会教育、青少年、女性教育推進事業 ◇読書活動普及、移動図書館活動事業 ◇高齢者教室事業 ◇子ども夢・実現プロジェクト事業 ◇放課後児童対策事業 ◇児童館管理運営事業 ◇ふるさと体験館「森野」施設管理運営事業 ◇地域学習講座開講事業 ◇アイヌ文化を学ぶふさふさ学習事業 ◇公民館、図書館、高齢学習センター管理運営事業 ◇史跡白老山老台滑降屋跡第2次環境整備事業 ◇社会教育施設改修・耐震化事業	○移動図書館車の更新により、町民の読書機会の充実を図った。 ○子ども夢・実現プロジェクト事業の手法も夢・実現プロジェクト（子ども読書推進委員会） ○ふるさと体験館「森野」はH28dに条例廃止となり再発注事業を再開し、まちの歴史や文化など、様々な学習機会の創出を図った。 ○アイヌ文化を学ぶふさふさ学習事業を通じて、アイヌの歴史や文化に関する正しい理解と、郷土愛を育んだ。 ○孝行化に合う施設の新築については、その都度補修し、迅速な対応に努めている。	○高齢者大学の学生数の減少が課題である。 ○施設の老朽化が進み、計画的な整備・修繕が必要である。 ○遊技場指定されているコメセンや総合体育館の早期閉館に向け、ガイド養成講座 ○フットボール閉館に向け、ガイド養成講座の構築と、ガイド人材の確保が求められている。 ○生涯学習によるひとつづくり、まちづくりを進めるため、コメセンや図書館等に ○おいて、様々な分野の学習機会や情報の提供に努めていく。	54.6%	53.4%	0.98	2.9	3.2	
3-4				指標なし	まちづくり指標	基準値	H27	H31	-	達成度	-
				図書読書数 ※基準値65,100冊から概ね6,000冊増の71,500冊を目指す。 図書館の町民一人当たり蔵書貸出冊数 ※4冊以上を目指す。 児童青少年育成事業年間活读者数 ※基準値2人からの増加を目指す。 ふるさと教育・体験学習事業実施件数 ※基準値10回からの増加を目指す。 十分な学習機会を創出していると思う町民の割合 ※基準値49.2%からの増加を目指す。	まちづくり指標	基準値	H27	H31	-	達成度	-
CD	⑤芸術・文化 ・芸術・文化活動の推進 ・史跡・文化財の保全・活用 ・歴史と文化のまちの推進	町民が豊かな心を持って潤いある生活を送るため、町民の芸術・文化に触れる機会を充実させ、自主活動を促進します。町の貴重な文化遺産を後世に継承するため、史跡・文化財の保全と活用を進めます。	◇みんなの基金事業 ◇芸術文化活動運営事業 ◇文化財行政推進事業 ◇資料館運営事業 ◇多言語対応ガイドシステム導入事業 ◇町史編さん事業 ◇歴史と文化のまちPR活動	○図書館資料館の保存活用計画を策定し、特別展等の実施、体験プログラム等の進捗を進めてきた。 ○町史発行に向けて準備作業を進めていく。 ○まち歩きや展示会等の実施により、白老の歴史・文化をPRした。	○図書館資料館とウグサイトとの連携のあり方が今後の課題である。 ○町史発行の周年を目標に、町史発行に向けた取組みを加えていく。	58.7%	57.1%	0.97	2.9	3.0	
3-5				指標なし	まちづくり指標	基準値	H27	H31	-	達成度	-
				芸術文化鑑賞事業実施数 ※基準値2回からの増加を目指す。 図書館資料館特別展等事業実施数 ※基準値8回からの増加を目指す。 図書館資料館入館者数 ※基準値7,694人からの増加を目指す。 日曜から文化・芸術に楽しんでいる町民の割合 ※基準値35.5%の増加を目指す。	まちづくり指標	基準値	H27	H31	-	達成度	-
				2回	8回	10回	1	達成			
				8回	9回	8回	1	継続			
				7,694人	7,638人	5,313人	1	停滞			
				35.5%	26.8%	27.3%	1	停滞			

ID	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経時的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価	
						H25	H31	対比		
3-6	⑥民族文化 ・アイヌ文化の普及促進・保存 ・伝承 ・アイヌ民族博物館の充実 ・民族共生象徴空間の整備促進	2020年の「民族共生の象徴となる空間」の開設を機に、世界に拓かれた特性を理解し、尊重する環境づくりを進めます。 また、独自の自然観を併せ持ったアイヌ文化を次世代へ継承するため、国内外各層への幅広い普及啓発とともにアイヌ語、古式舞踊、伝統的工芸技術などアイヌ文化の保存・伝承に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ施策推進事業</li> <li>アイヌ文化伝承普及啓発事業</li> <li>アイヌ再生事業</li> <li>生活館改修事業</li> <li>アイヌ文化施設強化対策事業</li> <li>民族共生象徴空間整備促進・活性化事業</li> <li>旧社台小学校利活用事業</li> <li>象徴空間周辺整備事業</li> </ul>	<p>○イオールの事業を通して、アイヌ文化等への認識や理解度が高まった。</p> <p>○ウポポイ開設後の旧社台小の利活用について関係機関との協議が必要である。</p> <p>○新設交付金の活用により、アイヌ文化の理解促進、及び地域振興策の検討が求められている。</p> <p>○100万人の集客を維持させるため、ウポポイを核としたまちづくりに取り組んでいく。</p>	<p>60.8%</p> <p>60.2%</p> <p>0.99</p> <p>3.0</p>	H25	H31	対比	評価	
<p>まちづくり指標</p> <p>各種講習会開催回数 ※基準値16回の維持を目指す</p> <p>アイヌ民族博物館入館数 ※基準値20万人の維持を目指す。</p> <p>民族共生象徴空間について理解している町民の割合 ※基準値69.9%からの増加を目指す。</p>						基準値	H27	H31	目標値	達成度
<p>まちづくり指標</p> <p>スポーツ事業等実施回数 ※基準値6回からの増加を目指す。</p> <p>スポーツを定期的にやっている町民の割合 ※基準値36.6%からの増加を目指す。</p>						6回	13回	13回	↑	達成
<p>まちづくり指標</p> <p>スポーツ事業等実施回数 ※基準値36.6%からの増加を目指す。</p>						36.6%	33.4%	39.2%	↑	達成
3-7	⑦スポーツ・レクリエーション ・スポーツ・レクリエーション 活動の充実 ・スポーツ・レクリエーション 施設の整備	町民が生産にわたって運動に親しみ、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、年齢や体力などに応じた多様なスポーツ・レクリエーション機会の提供を図るとともに、体育施設の安全性・利便性を高め、「陸でも」「こども」「気軽に」運動に親しむことのできる環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育協会運営事業</li> <li>スポーツ団体支援事業</li> <li>体育施設指定管理事業</li> <li>体育施設改修事業</li> <li>体育施設耐震化事業</li> </ul>	<p>○ファミリーマラソン大会の参加者がこの数年100人を超えている。</p> <p>○スポーツ施設を指定管理することで、民間活カワの促進を図った。</p>	<p>55.1%</p> <p>56.0%</p> <p>1.02</p> <p>3.0</p>	H25	H31	対比	評価	
<p>まちづくり指標</p> <p>スポーツ事業等実施回数 ※基準値6回からの増加を目指す。</p> <p>スポーツを定期的にやっている町民の割合 ※基準値36.6%からの増加を目指す。</p>						基準値	H27	H31	目標値	達成度
<p>まちづくり指標</p>						6回	13回	13回	↑	達成
<p>まちづくり指標</p>						36.6%	33.4%	39.2%	↑	達成
3-8	⑧国際・地域間交流 ・国内交流の推進 ・国際交流の推進	姉妹都市との親善を深めるとともに、町民の社会性・文化性を育み、国際感覚豊かな魅力ある人利を育成するため、国内外の姉妹都市などとの交流を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹都市交流促進事業</li> <li>姉妹都市の歴史にふれる旅交流事業</li> <li>国際交流促進事業</li> <li>ケネル市代表団受入事業</li> <li>ケネル市訪問交流事業</li> </ul>	<p>○姉妹都市協会の主体となり、姉妹都市との交流を図っている。H28には、民間主体で「つながる部会」が発足した。</p> <p>○ケネル市との相互交流や交換留学など、各種交流事業を推進してきた。</p>	<p>3.0</p> <p>54.0%</p> <p>54.8%</p> <p>1.01</p> <p>3.0</p>	H25	H31	対比	評価	
<p>まちづくり指標</p> <p>国内姉妹都市との交流事業回数 ※基準値3回の維持を目指す。</p> <p>国際姉妹都市交流事業の実施数 ※基準値1回の維持を目指す。</p>						基準値	H27	H31	目標値	達成度
<p>まちづくり指標</p>						3回	9回	10回	↑	達成
<p>まちづくり指標</p>						1回	1回	1回	↑	達成

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	統計的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価	
						H25	H31	対比		
3-9	⑨人権 ・人権擁護活動の促進 ・男女共同参画の推進	町民一人ひとりの人権が尊重され、互いに認め合い、あらゆる差別のない、誰もが幸せに暮らすことのできる地域社会の実現をめざし、様々な機会を通じた人権に対する正しい理解を深めるよう、学習機会や啓発活動を進め、人権に関する相談や支援体制の整備を推進します。	◇町民活動推進事業 ◇地域人権啓発活動活性化事業 ◇男女共同参画推進計画事業 ◇DV等防止の推進	○人権擁護委員会や保護司会等との連携により、相談体制の強化を図った。 ○男女共同参画を策定し、男女共同参画を推進してきた。 4.0	○人権擁護委員の候補者確保等に苦慮している。 ○男女共同参画に対する意識は浸透してきているが、性別による社会的慣行が根強く残っている。 ○男女が互いに認め合うまじの実現に向けて、周知方法等の工夫を検討しながら、意識啓発事業等を推進していく。	H25 53.8%	H31 55.1%	対比 1.02	評価 3.1	3.6
まちづくり指標						達成度				
人権に関する相談件数						達成				
※基準値3回の維持を目指す。						達成				
各種審議会等における女性の参画率						達成				
※基準値の概ね5%増の30%を目指す。						達成				
女性リーダー養成研修等派遣者数						達成				
※基準値1人からの増加を目指す。						達成				
職歴や家庭、地域などで男女が性別にかかわらず活動ができていないと思う町民の割合						達成				
※基準値61.3%からの増加を目指す。						達成				

分野：産業

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経路的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価						
						H25	H31	対比							
4-1	①産業連携・雇用 ・ 産業と産業連携の促進 ・ 食料王国しらすおいブランドの推進 ・ 雇用の拡大 ・ 雇用環境の充実	掲揚製品の安定した供給体制の確立とブランド力の向上を図るとともに、農林漁業自給と3次産業との連携による6次産業化を推進し、さらには2020年に開設される「民族共生の象徴となる空間」整備を契機とした雇用の創出・拡大をめざします。また、すべての勤労者や求職者が自らの能力を十分に発揮し、安心して働くことができるよう、雇用環境の充実を図ります。	◇新事業創出・起業の支援 ◇食料王国しらすおいブランド強化事業 ◇特産品PR事業 ◇求人情報コーナーの設置 ◇労働行政推進事業 ◇就業促進・人材確保支援事業 ◇首都圏人材誘致活性化事業	○空き店舗や創業支援などの就業促進施策により、一定の成果があった。 ○食料王国しらすおい地産地消推進協議会は、運営形態が民間主導に変わり、発展的に解散した。 ○若年層、女性等をターゲットとした合同企業説明会等を実施し、求人と求職者のマッチング支援を推進してきた。 ○Uターン事業、おたのめし暮らし等、移住定住の促進を図り、一定の成果があった。	○アイヌ文化と現代文化が融合した新たな産業化の検討が求められている。 ○ふるさと納税の新たな返礼品造成と輸出度を高めるためのチャネル数の増加検討が課題である。 ○所得の底上げのための正規雇用化への検討が必要である。 ○経済情勢によるマッチングを高めるための対策等について検討していく。	H25	H31	対比	3.3	45.8%	51.0%	1.11	3.3		
第6次産業化法に基づく事業計画の累計認定件数 ※2件の認定を目指す。						基準値	H27	H31	達成度	0件	0件	0件	2件	停滞	
「食」を通じてさらなる活力や魅力が蓄まっていると感ずる町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。 ※基準値からの増加を目指す。						基準値	H27	H31	達成度	81.2%	63.4%	66.9%	↑	停滞	
「食」を通じてさらなる活力や魅力が蓄まっていると感ずる町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。 ※基準値からの増加を目指す。						基準値	H27	H31	達成度	9.1%	4.4%	9.1%	↑	継続	
4-2	②港湾 ・ 白老港の整備促進 ・ 商港区の利用促進 ・ 親しまれる港づくり	海上貨物輸送の拠点となる地方港湾白老港の整備や施設の適切な維持管理を進めるとともに、商港区や関連施設の利用を促進し、地域経済の持続的な発展をめざします。	◇地方港湾白老港建設事業 ◇白老港港湾施設点検事業 ◇港湾利用促進事業 ◇港湾関連施設用地分譲事業 ◇客船入港歓迎事業 ◇親しい埠頭環境整備 ◇イベント開催での利用促進	○第3商港区の整備は、西外防波堤まで完了。今後は島防波堤の延伸を待つのみ。 ○ホーセー等々の維持実施により、取扱貨物量を100万t超で維持している。 ○クルーズ船の誘致活動が続き、H29dに初めて大型クルーズの香港が実現した。 ○港湾を活用した各種イベントの開催により、港湾整備に対する理解が浸透している。	○港湾施設の長寿命化に向けた点検や改修等により、経費増加が抑制されている。 ○漁船の大型化により、漁港区が活性化している。 ○利用促進の強化、特に、象徴空間開設を契機としたクルーズ船の誘致に注力していく。 ○国交省が推進する「みたとオアシス」の登録検討を進めていく。	H25	H27	H31	対比	3.7	50.9%	50.7%	1.00	3.0	3.4
貨物取扱量 ※基準値からの増加を目指す。 ※基準値からの増加を目指す。						基準値	H27	H31	達成度	112万t	110万t	122万t	↑	達成	
港湾整備率 ※基準値からの増加を目指す。						基準値	H27	H31	達成度	54.0%	68.0%	70.0%	↑	達成	

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経時的な成果・検証	課題と今後の方向性		内部評価		住民満足度		総合評価
					H25	H31	H25	H31	H25	H31	
4-3	③商工業 ・企業誘致の推進 ・商工業の活性化	地域経済基盤の強化や雇用の維持・創出を図るため、既存商工業の集積・発展的・進歩的・新招企業等の誘致を推進的に進めるとともに、豊富な地産地消や、志強に推進する商産品開発の推進や、志強に推進する商産品開発の推進力と特色のある商業機能の充実に促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇企業誘致対策事業</li> <li>◇工業団地分譲事業</li> <li>◇中小企業経営安定化支援事業</li> <li>◇特産品PR・物産交流関係事業</li> <li>◇プレミアム付商品券発行事業</li> <li>◇空き店舗等活用・創業支援事業</li> <li>◇地域特性を活かした商業観光振興事業</li> <li>◇子育て世代・移住者等定住促進支援事業</li> <li>◇住宅等リフォーム・耐震化促進事業</li> </ul>	<p>これまででの企業誘致活動が功を奏し、町内への企業進出や既存企業の施設拡大の動きが見られ、大きな成果があげられている。</p> <p>◇対象空間の開発を契機とした空き店舗・創業支援事業は、ニーズが高く、一定の成果が見られた。</p> <p>◇中小企業の運転・設備資金を支援する低利融資制度は、利用率も高く、商工業の活性化につながった。</p>	<p>工業団地の未売却地の処分が課題である。</p> <p>◇進出企業の労働力不足が課題となっている。</p> <p>◇早急な雇用対策が求められる。</p> <p>◇白老駅北側商業ゾーンの運用が、町全体の経済の底上げにつながるような、次の展開が求められている。</p> <p>◇関係団体と連携を強化し、経営革新や新規産業に取り組み中小企業を資金面だけでなく、多面的に支援していく。</p>	4.0	42.4%	44.3%	1.04	3.1	3.6
	<p>立ち上げ案件数 ※基準値から概ね20%増を目指す。</p> <p>法人町民共創推進事業数 ※基準値からの増加を目指す。</p>					<p>まちづくり指標</p> <p>H27 29社 H31 32社</p> <p>基準値 29社</p> <p>H25 451法人 H31 578法人</p> <p>72.0%</p> <p>58.1%</p> <p>67.0%</p>					
4-4	④観光 ・魅力ある観光地の形成 ・受入施設等の整備・充実 ・観光客誘致の推進	豊かな自然やハラエラエティに富んだ食文化、温泉や歴史・文化など様々な観光資源を創出し、魅力ある商品構成や環境を創出するとともに、本町の魅力を国内外に積極的に発信し、旅行者に選ばれられる観光地をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇広域観光推進事業</li> <li>◇観光行政推進事業</li> <li>◇民族共生象徴空間受入体制整備事業</li> <li>◇アヨロ鼻灯台等周辺整備事業</li> <li>◇ポロトの森誘客推進事業</li> <li>◇観光客誘客推進事業</li> <li>◇インバウンド情報発信強化事業</li> <li>◇白老町観光大使任命・PR事業</li> </ul>	<p>町内でよく買物されている町風の割合を基準値からの増加を目指す。</p>	<p>課題と今後の方向性</p> <p>◇アイヌ文化と連携した産業化を促す種別や、オリジナル性の高い商品の開発等が課題である。</p> <p>◇多言語表示や電子決済、食のバリエーション等、インバウンド対応が求められている。</p> <p>◇観光協会を中心としたDMOの構築に取組みるとともに、母体の体制強化、自走可能な体力強化を図っていく。</p>	3.7	46.3%	48.8%	1.05	3.2	3.5
	<p>観光入込客数 ※基準値の概ね13%増の2,000千人を目指す。</p> <p>観光宿泊客数 ※基準値の概ね28%増の100千人を目指す。</p>					<p>まちづくり指標</p> <p>H27 1,814千人 H31 1,905千人</p> <p>基準値 1,782千人</p> <p>H25 78千人 H31 84千人</p> <p>1,814千人</p> <p>1,905千人</p> <p>2,000千人</p>					

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経時的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			内部評価	総合評価	
						H25	H31	対比			
4-5	⑤農林業 ・農業基盤の整備 ・農業経営の強化 ・環境と人にやさしい農業の推進 ・森林の整備と保全 ・林産物の利活用の推進	農業や林産物の振興による地域活性化を図るため、安全・安心な生産体制の確立や生産能力の向上、担い手の育成、基盤の整備や経営の安定化を促進します。 また、森林の持つ多面的・公益的な機能の維持増進を図るため、森林の保全や整備を進めます。	◇畜産振興推進事業 ◇農業基盤整備促進事業 ◇農業関係資金利子補給事業 ◇多面的機能支払交付金事業 ◇農業次世代人材投資事業 ◇畜産業担い手強化対策事業 ◇白老牛消費拡大事業 ◇町有林管理・更新事業 ◇私有林対策事業	<p>○農業基盤整備として、肺炎肺炎整備や農地保全活動等を実施して、融資制度を活用した事業拡大への取組み等を講じてきた。</p> <p>○新規就農者対策として、就農給付金や牛舎建設補助等による支援を実施した。町有林、私有林の間伐、植樹等を実施し、森林整備・保全に努めてきた。</p> <p>○森林の多面的機能の向上による災害に強い森づくりが課題。特に、森林環境課と税による私有林対策の強化が求められている。</p> <p>○農林業の基盤強化を図るため、設備投資に対する補助や、経営改善等の支援に取り組んでいく。</p>	H25	H31	対比	3.4	3.0	3.2	
					基準値	H27	H31				目標値
				<p>肉用牛飼養頭数 ※毎年4%増加させ、19,100頭を目指す。</p> <p>枝肉平均脂肪率(A-3) ※基準値の概ね29%増の1,800円を目指す。</p> <p>新規就農者数 ※毎年1名以上の新規就農者の確保を目指す。</p> <p>エゾシカ駆除頭数 ※基準値の概ね増を目指す。</p> <p>特用林産物生産量 ※基準値の維持を目指す。</p>	<p>まちづくり指標</p> <p>基準値</p> <p>14,900頭</p> <p>11,385頭</p> <p>2,026円</p> <p>1人</p> <p>1人</p> <p>621頭</p> <p>960t</p>	<p>H27</p> <p>12,000頭</p> <p>2,048円</p> <p>0人</p> <p>1,368頭</p> <p>2,081t</p>	<p>H31</p> <p>19,100頭</p> <p>1,800円</p> <p>1</p> <p>1,200頭</p> <p>1</p>	<p>達成度</p> <p>停滞</p> <p>達成</p> <p>停滞</p> <p>達成</p> <p>達成</p>			
4-6	⑥水産業 ・水産業経営の安定化 ・漁業基盤の強化 ・資源管理型漁業の推進	漁業者や水産加工業者の生産性や生産者間の向上による経営の安定のため、装備・機材の近代化や担い手の育成、設備・漁場など生産基盤の整備を推進するとともに、つくり育てる漁業、水産物の消費や販路の拡大、水産加工業の振興を図り、地域水産業の活性化を促進します。	◇水産経営安定化推進事業 ◇水産行政推進事業 ◇水産資源衛生管理・制度保林林強化支援事業 ◇栽培・資源管理型漁業推進事業 ◇水産振興対策事業	<p>○漁業近代化基金による支援を行い、漁業者の負担軽減を図った。</p> <p>○継続した措置放流により、漁獲量の増加を図った。</p> <p>○有害生物の処理により、良好な漁場の保全に努めた。また、有害生物の利活用についても研究し、事業化に向けて取り組んだ。</p>	<p>○水産業全体の底上げと活性化につなげるための新たな取組み等が課題である。</p> <p>○漁獲量の更なる機能向上が求められている。</p> <p>○経営の基盤強化・安定化のため、設備の近代化や、担い手の育成、栽培漁業等の推進に努めていく。</p>	H25	H31	対比	3.7	3.0	3.4
						基準値	H27	H31			
				<p>漁業生産額 ※基準値の維持を目指す。</p> <p>つくり育てる漁業の生産額 ※基準値より、毎年概ね5%の増加させ、217百万円を目指す。</p>	<p>まちづくり指標</p> <p>基準値</p> <p>2,892百万円</p> <p>3,208百万円</p> <p>48百万円</p> <p>108百万円</p> <p>217百万円</p>	<p>H27</p> <p>2,141百万円</p> <p>1</p>	<p>H31</p> <p>1</p>	<p>達成度</p> <p>停滞</p> <p>停滞</p>			

分野：自治

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	統合的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度		評価	総合評価		
						H25	H31				
5-1	<p>①協働のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民参加の促進</li> <li>・ 地域活動の推進</li> <li>・ 広域広域活動の推進</li> <li>・ 開かれた行政の推進</li> </ul>	<p>自治基本条例に基づき、町民活動の促進や広報・広聴機能の充実を図る。また、協働のまちづくり活動の推進を図る。町民一人ひとりの参画を促し、町民一人ひとりがまちづくりの主体として、自らのまちを創るという意識を持ち、互いに助け合いながら、いつまでも安心して暮らすことのできる「しあわせを感じるまち」の実現をめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 多文化共生人材育成事業</li> <li>◇ 協働のまちづくり推進事業</li> <li>◇ 自治基本条例の検証</li> <li>◇ 町内会活動育成事業</li> <li>◇ 町民活動サポートセンター運営事業</li> <li>◇ 地区コミュニティ支援事業</li> <li>◇ 広報・広聴活動推進事業</li> <li>◇ パブリックコメント制度</li> </ul>	<p>統合的な成果・検証</p> <p>○協働のまちづくりやミニマムの継続実施。若手職員による協働のまちづくり推進の取組等により、協働に対する理解・普及を図った。</p> <p>○みらい創りプロジェクトによる対話・交流を通して、住民主体のコミュニティの発現を促進させた。</p> <p>○H28～29にかけて自治基本条例の検証・見直しを実施した。</p> <p>○業務支援員の配置、かんばる地域コミュニティ応援補助制度の創設により、地域活動の運営支援や連携強化を図った。</p> <p>○出前講座や地区懇談会等の実施により、町政に対する理解普及や情報の共有化を図った。</p>	<p>課題と今後の方向性</p> <p>○地域を支える担い手が不足しており、業務の機能低下が課題となっている。</p> <p>○情報発信の電子化・多様化が進む中、広報誌の在り方や掲載内容等の見直し・検討が必要である。</p> <p>○町運合・サポートセンター・行政の三者の連携の在り方について、今一度、協議・検討が必要である。</p>	<p>内部評価</p> <p>3.3</p>	<p>H25</p> <p>49.5%</p>	<p>H31</p> <p>53.9%</p>	<p>1.09</p>	<p>3.3</p>	<p>3.3</p>
<p>まちづくり指標</p> <p>町内会加入率 ※基準値の概ね2%増の98%を目指す。</p> <p>公募委員を含む審議員などの割合 ※基準値の概ね64%増の20%を目指す。</p> <p>NPO法人数 ※基準値の22%増の11団体を目指す。</p> <p>町ホームページの年間アクセス数 ※基準値の25%増の25万回を目指す。</p> <p>町内会や各種町民団体などによるまちづくり活動が活発であると思う町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。</p> <p>生活に必要な行政情報が得られていると思う町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。</p>											
						基準値	H27	H31	目標値	達成度	
						96.0%	92.6%	90.0%	98.0%	停滞	
						12.2%	13.6%	13.6%	20.0%	進展	
						9団体	10団体	7団体	11団体	停滞	
						20万回	26.4万回	57.8万回	25万回	達成	
						47.0%	36.6%	32.9%	1	停滞	
						55.7%	47.8%	61.5%	1	達成	

CD	施策名	施策目標	主な事業・取組み	経過的な成果・検証	課題と今後の方向性	住民満足度			総合評価	
						H25	H31	対比		
5-2	<p>②行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健全な行政運営</li> <li>効率的・効果的な行政運営</li> <li>行政サービスの充実</li> <li>広域的な協力・連携</li> </ul>	<p>次代を担う子どもたちに過大な負担を残すことなく、すべての町民が希望を持って生活できるよう、限られた財源や人員の中で、効果的に高い行政運営に努めるとともに、計画的で健全な行政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体運営を進めます。</p> <p>また、高度化・複雑化する行政需要に対応するため、住民の目線に立つたきめ細かなサービスの提供や職員的能力向上、近隣自治体との広域的な連携により、迅速で質の高い行政サービスの提供をめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇第4次集中改革プラン</li> <li>◇白老町財政健全化プラン</li> <li>◇ふるさと納税推進事業</li> <li>◇総合計画・総合戦略策定事業</li> <li>◇公共施設等総合管理計画策定事業</li> <li>◇行政改革推進事業</li> <li>◇広域行政推進事業</li> <li>◇職員研修事業</li> </ul>	<p>経過的な成果・検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○議員数の適正化を図り、業務の効率化を進めてきた。</li> <li>○財政規律を遵守し、健全な財政運営に努めてきた。</li> <li>○公共施設等の延床面積の削減を目標に掲げるとともに、既存施設の寿命延長に向けた現状や課題等の分析を進めてきた。</li> <li>○民間活力活用に関する基本方針やシステムによる業務の効率化を進め、業務の削減に努めてきた。</li> <li>○人材育成基本方針や職員研修基本方針を策定し、職員研修の充実を図ってきた。</li> <li>○東胆振定住自立圏構想やよい西いぶり広域連携会議等により、圏域内での広域行政を推進してきた。</li> </ul>	<p>課題と今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安定的な行政運営の方向性・手法等の検討が求められる。</li> <li>○人口規模に見合った公共施設等の適正配置が課題である。</li> <li>○民間活力を積極的に活用するためのスキル・経験値が不足している。</li> <li>○広域的な連携を一層強め、地域内完結型からの脱却を進めていく。</li> </ul>	H25	H31	対比	総合評価	
						38.6%	49.5%	1.29		3.9
<p>内部評価</p> <p>3.7</p>						基準値	H27	H31	目標値	達成度
<p>まちづくり指標</p> <p>実質公債費比率 ※平成31年度に基準値と同水準になることを目指す。</p> <p>町税徴収率 ※基準値からの増加を目指す。</p> <p>町政サービスが行われていると認める町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。</p> <p>無職、無職のない健全な行政運営を行っていると思える町民の割合 ※基準値からの増加を目指す。</p>						17.9%	19.1%	13.8%	→	達成
						97.5%	97.6%	96.4%	↑	停滞
						34.2%	24.8%	21.7%	↑	停滞
						20.6%	9.2%	16.3%	↑	停滞